

相談面接の技術



援助関係の本質を知り、面接の技術を磨くことは、利用者の支援においても、対人援助活動をよりスムーズに行うためにも重要です。本研修では、的確かつ好感をもたれるスキルを学ぶことができ、クライアントやご家族との相談面接をより一層レベルアップしたい方に最適の講座です。

福祉現場の対人援助職にとって必要な倫理や、主要な機能である「面接」に関する知識・技術について再度確認し、実践的な能力を高めることにより、実際の相談面接場面における資質の向上を図ります。

様々な問題やニーズを持つ利用者と直接関わる際に必要な相談面接の技術は、援助技術の中核となります。援助者としての自己を理解し、相談場面の技術力を高めませんか？

【講師】 京都女子大学 教授 橋本 有理子 氏

【プログラム】 ※1コースから受講可。時間はいずれも **午前10時～午後4時30分**です。

コース 日程	【基礎編】 11月14日(木)	【応用編】 11月21日(木)	【実践編】 11月25日(月)
ねらい	面接時に必要な基本的視点、技術、倫理を学ぶ	面接を効果的に展開するために必要な視点、技術を学ぶ	実践を通して、相談援助職に必要な視点、技術を磨く
内容	①講義「相談面接とは何か」 ②演習「コミュニケーション技法」 ③講義「バイステックの7原則」 ④演習「バイステックの7原則を活用して実践場面をふりかえる」 ⑤講義「相談面接時の留意点(1) インテーク(初回面接)を中心に」	①講義「相談面接とは何か」(基礎編の復習) ②演習「価値交流学习(自他の価値観)」 ③演習「自己の価値観と相談援助職としての価値」 ④講義「相談面接時の留意点(2) アセスメントでエコマップを活用する」 ⑤演習「エコマップ作成から事例を考える」	①講義「相談面接とは何か」(基礎編・応用編の復習) ②講義「相談援助職としての記録の書き方」 ③演習「適切な記録を考える」 ④講義「ロールプレイの進め方」 ⑤演習「相談援助場面を通してそれぞれの立場から考察する」 ※⑤はビデオ撮影を活用した演習

■会場 大阪市社会福祉研修・情報センター 5階 大会議室


■対象者 大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務する職員

なお、法定外研修については大阪府下の事業所も申込可

■定員 1コース54人(うちケアマネ法定外研修6人) 申込多数の場合は抽選

■受講料 1コース3,000円

■申込方法 FAXまたはホームページからお申し込みください

ウェルおおさか  検索

■申込締切 **10月25日(金)午後5時まで**

■受講決定 10月下旬に事業所あて送付します。11月7日(木)になっても通知が届かない場合はご連絡ください。



相談面接の技術

FAX 06-4392-8272

申込締切：10月25日（金）午後5時まで

事業所名					
種別	右の番号	①高齢者福祉関係 ④生活保護施設	②障がい児・者福祉関係 ⑤その他（	③保育・児童福祉関係 ）	
事業所 連絡先	〒	住所			
	電話	FAX			
受講希望者 (ふりがなも必ずご記入ください)	申込コース ☑をいれてください	福祉業務 経験年数 (R6.11.1時点)	年齢	職種番号	
ふりがな	<input type="checkbox"/> 基礎編 11/14 <input type="checkbox"/> 応用編 11/21 <input type="checkbox"/> 実践編 11/25	年	歳	番号	①相談職・支援職 ②介護支援専門員 ③介護職 ④保育士 ⑤保健師・看護師 ⑥事務職・管理職 ⑦その他()
相談面接で困っていることや、質問がございましたら、ご記入ください(任意)					
備考欄	車いす使用の方、手話通訳、拡大文字資料が必要な方は、その旨をご記入ください。				

<input type="checkbox"/> ケアマネ法定外研修として受講希望 <small>(申請は研修申込時、必須。その後の申請は受付できません。)</small>	<input type="checkbox"/> 介護支援専門員登録番号 <small>(ケアマネ法定外研修として受講希望の方は必ずご記入ください)</small>	
---	---	--

*提供していただきました個人情報につきましては、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営のためにのみ使用し、他の目的で使用したり、第三者へ提供したりすることはありません。